

試料番号 S1-1(3.00m~3.70m) 調査名・目的 SYSTEM21 最高級プロフェッショナル土質調査解析ソフト 長年の実績で信頼と安定したソフトを実現 試料採取場所 大牟田採石場	試験年月日 2019年10月11日 使用場所 路盤工 試験者 井上 幸子
---	--

骨材の最大寸法 26.5 mm

試験時の水温 15.0 °C 水の密度 0.99910 g/cm³

測定番号		1	2	3	4
①	表乾試料容器質量 (g)	2467.2	2454.6	2463.2	2505.8
②	容器質量 (g)	331.6	324.2	340.1	354.5
③	表乾試料質量 (g) ①-②	2135.6	2130.4	2123.1	2151.3
④	(かご+試料) 水中質量 (g)	1716.5	1713.5	1714.6	1721.3
⑤	かごの水中質量 (g)	373.9	415.1	414.2	416.3
⑥	試料の水中質量 (g) ④-⑤	1342.6	1298.4	1300.4	1305.0
⑦	表乾密度 (g/cm ³) $\frac{\text{③} \times \text{水の密度}}{\text{③} - \text{⑥}}$	2.691	2.558	2.578	2.540
平均値		2.62		2.56	
⑧	乾燥後の試料質量 (g)	2128.5	2123.5	2115.6	2145.6
⑨	絶乾密度 (g/cm ³) $\frac{\text{⑧} \times \text{水の密度}}{\text{③} - \text{⑥}}$	2.682	2.550	2.569	2.533
平均値		2.62		2.55	
⑩	見掛密度 (g/cm ³) $\frac{\text{⑧} \times \text{水の密度}}{\text{⑧} - \text{⑥}}$	2.706	2.571	2.593	2.550
平均値		2.64		2.57	
⑪	吸水率 (%) $\frac{\text{③} - \text{⑧}}{\text{⑧}} \times 100$	0.334	0.325	0.355	0.266
平均値		0.330		0.311	

備考

粗骨材の密度や吸水率を求めます。
 砂分や細礫を含みます。
 試験中は室温が変化しないように配慮しました。
 表乾・絶乾・見掛密度を計算します。
 吸水時間は、規定に法った方法で行いました。